



2020年2月6日

各位

会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス  
 代表者名 代表執行役社長 越智 仁  
 (コード番号: 4188 東証第1部)  
 問合せ先 執行役 広報・IR 室長 羽深 成樹  
 TEL. 03-6748-7120

## 2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年11月1日に公表しました2020年3月期の通期業績予想を修正しましたのでお知らせします。

## 記

## 1. 通期の業績予想の修正

(1) 2020年3月期通期連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当り 当期利益
前回発表予想 (A) (2019年11月1日発表)	億円 37,650	億円 2,500	億円 2,410	億円 1,700	億円 1,310	円 銭 92 26
今回修正予想 (B)	36,300	2,100	1,820	1,220	810	57 04
増減額 (B-A)	△1,350	△400	△590	△480	△500	
増減率 (%)	△3.6%	△16.0%	△24.5%	△28.2%	△38.2%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	38,403	3,141	2,948	2,167	1,695	119 22

税引前利益 前回発表予想 2,210億円 今回修正予想 1,590億円

注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

売上収益、コア営業利益、営業利益及び税引前利益については、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。

## (2) 業績予想修正の理由

MMA・炭素等のケミカルズ関連の市況が前回想定を下回ると見込まれること、ディスプレイ向け光学用途・半導体用途・自動車用途における製品需要の調整局面が当面は継続する見通しであること等により売上収益及びコア営業利益は前回発表予想から減収減益となる見通しです。

加えて当第3四半期において、ヘルスケア分野の製剤材料事業に関連するのれんについて減損損失を計上したことから営業利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益についても前回発表予想から減益となる見通しです。

&lt;ご参考&gt;

セグメント別損益 (コア営業利益)

(億円)

	今回修正予想	前回発表予想	増減額
機能商品	700	810	△110
ケミカルズ	450	730	△280
産業ガス	890	930	△40
ヘルスケア	60	60	-
その他	-	△30	30
合計	2,100	2,500	△400

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上